ISF様九重圃場【ハウス青ネギ】施肥設計

▼以下各種設定条件▼

◆該当圃場
所在地：https://maps.app.goo.gl/bcwVPHAQtJM5oLmJ7
面積　：約3a
（間口6m、奥行53mの単棟ハウス、サイド灌水有）
東西にかけてのハウス　一部陰あり

◆作型(スケジュール感)
5月初旬　仮立て
5月中旬　定植
8月上旬　収穫①(在圃約70日)

収穫皮袋　追肥
10月上　収穫②(在圃約60日)

収穫皮袋　追肥
12月中　収穫③(在圃約70日

◆設定窒素量
当地では有ねぎの実績がないため
窒素量は慣為の平均をベースにします。

1作目：18kg/10a(元肥肥効約2か月、ジシアン)
2作目：6~8kg/10a(追肥肥効約1．5ヵ月)
3作目：6~8kg/10a(追肥肥効約1．5ヵ月)

◆土壌診断

◆分析結果から気になるところ【以太郎提案】
①燐酸が多い、リン酸がなくて少しリ　→石灰の量から見作かすでは ph調整に苦労したのではッと提案される。
②炭比率：かなり低いため一発肥料に比重の低い有機類よりもミネラルのたのが多くなってくる。・放線菌が上手いやすいため、
③石灰分がやすい状態はなぜ低が多くないか。(我太郎提案)石灰はCECに不足するのが good
④苦土酸・・・苦土の量を増加してマイナス電荷の量を小さくしないと高温度の状態でph.もとがりにくい。(我太郎提案)

◆設定条件
当地では有ねぎの実績がないため
窒素量は慣為の平均をベースにします。

1作目：18kg/10a(元肥肥効約2か月、ジシアン)
2作目：6~8kg/10a(追肥肥効約1．5ヵ月)
3作目：6~8kg/10a(追肥肥効約1．5ヵ月)

コンセプト

耕もるるから、生育のがらつきはいつも耕作者相手で、
土況や生育をそろえていく対策を組み込んでいく。
山間で気温の低下で苦しいいるが苦の生育温度条件を上げた
対策をすることで品質の安定と収穫期間に長い追肥を目指す。

現状中の10a収穫量でいえば

◆1作目
先肥：土壌改良：65,000円
追肥：肥料：農薬：10,000円

◆2作目試算
追肥：10,000円
追肥：肥料：農薬：10,000円

→3期収穫、115,000円/10a

九州圃場は：作のサイクルが早い為：2日早く植いと
収穫して、上記でいいの収穫量で考えてあります！

◆設定提案
当地では有ねぎの実績がないため
窒素量は慣為の平均をベースにします。

1作目：18kg/10a(元肥肥効約2か月、ジシアン)
2作目：6~8kg/10a(追肥肥効約1．5ヵ月)
3作目：6~8kg/10a(追肥肥効約1．5ヵ月)

①ハウスなのでリン酸は後から
どんどんたまってくるものと考え多量に入れない方針で
考えてちょうどいいと考えます。
②化成ベースで作り　有機物は作終わりや
土壌改良剤で補うでいいと思います。
③黒ぼくとは、腐植は多いので減らないものと
考えたほうがいいかもしれません。
ですが、苦行して、粘土鉱石などと比重の重たい
ものを一部組み込むことで、
バランスを整えることや、間所的にCECを上げて
いき　N量(元肥など)
減らしていくのもありかと思います。

選定商品案

◆選択パターンとして
予算によるが、安定をさせることと長期どりであることも含め、
EB－aの粒を使用で根はり環境は整えたい。

◆元肥①　彩満点【1袋20kgN2.4】
12－10－10　90日－100日タイプ
選定理由：元肥の肥料効果を比較的長く2作目まである程度伸ばしたい。またカルシウム、
硫黄、ホウ素などの微量要素と中量要素をフクエンカにより安定供給したいことと、
水での溶解で窒素が出にくいことを想定。関東でも優秀な結果をだしているトモエブランドを採用

◆疑似地力として利用

軽量根付一発　早稲用　【1袋10kgN2.8】約100日タイプまたは120日タイプ　N28-10-10
水稲肥料の丸日タイプですが、畑地でしようすることで2.5倍～約3倍の日数に伸びるため
シーズン通して肥料が放出されます。 早稲タイプを基本採用していただき元肥での使用をすることで年間の地力を発現します。
水がおおい土質とのことですので、想定よりは放出するスピードが速いなど生育の様子を見て多少の変更が必要ですが、
使用することにより低度化成の使用袋数を削ることができる。

◆約半年かけて無機化
IMP　分析例　3－4－0.3　ケイ酸11.2石灰8　マンガン0.07　ホウ素0.02
3袋から5袋使用
・リン酸を有機物からゆっくり放出することで利用効率をUP
・放線菌を主体の菌資材を利用することで病気予防を狙う
・ケイ酸とカルシウムその他微量要素を補填

◆追肥　②6－7－7　30日から40日タイプ
選定理由：肥料、カルシウム、硫黄、ホウ素などの微量要素と中量要素をフクエンカにより安定供給したいことと、
水での溶解で窒素が出にくいことを想定
トモエ特8号　【1袋20kgN1.2】
トリプルアシッド　8－0－11.8　【1袋20kgN1.6】
追肥①
トモエ特8号
関東での白ネギの夏越実績から選定。その他鳥取や、九条ネギ東北でも各地域夏越での成果も上がっているため
トリプルアシッド　8－0－11.8
反当り10kgN0.8
選定理由：アミノ酸による効果で土壌微生物の活性度を上げることとフルボ酸フミン酸によるキレート効果で使用する
リン酸の効率を上げる。ハウスの集積軽減を狙うための施策として導入。
追肥②　2銘柄使用しない場合。
仕上げST01　897　弊社オリジナル商品　有機率高く土壌微生物の活性を促しながら約1か月半ほど利かせられる。

以下設計

使用タイミング	商品名	使用袋数 ※液肥の場合は回数	N 量	備考	参考価格【税込】	使用金額【定価ベース】
pH低下時	苦土石灰					
土壌改良剤☆	IMP	3	1.8	放線菌主体の商品　リン酸を有機物から供給　3－4－0.3　ケイ酸11.2石灰8　マンガン0.07　ホウ素0.02　無機化は約半年	2200	6600
土壌改良剤	スーパーボーラス	3	0	粒状の鉱物資材　比重を重くし継続的に使用する。ケイ酸ほか、様々な微量要素を含む。ガス害などからの悪因の低下を狙う。	3940	11820
元肥	軽量根付一発【早稲タイプ】	5	14	250日から300日の想定　残渣分解などの窒素も兼ねるためオフシーズンも活用	5654	28270
元肥	彩満点	6	14.4	12－10－10　90日－100日タイプ 選定理由：元肥の肥料効果を比較的長く2作目まである程度伸ばしたい。またカルシウム、 硫黄、ホウ素などの微量要素と中量要素をフクエンカにより安定供給したいことと、 水での溶解で窒素が出にくいことを想定。関東でも優秀な結果をだしているトモエブランドを採用	4994	29964
追肥★	トリプルアシッド	0.5	0.8	- 肥料成分：窒素(N) 8%、リン酸(P) 0%、カリウム(K) 11.8% 腐植酸成分：フミン酸 5%、フルボ酸 15% アミノ酸含有量：約1.8キロ/袋	5280	2640
追肥	トモエ特八号	3	3.6	肥料、カルシウム、硫黄、ホウ素などの微量要素と中量要素をフクエンカにより安定供給したいことと 水での溶解で窒素が出にくいことを想定	3980	11940
追肥★	トリプルアシッド	0.5	0.8	- 肥料成分：窒素(N) 8%、リン酸(P) 0%、カリウム(K) 11.8% 腐植酸成分：フミン酸 5%、フルボ酸 15% アミノ酸含有量：約1.8キロ/袋　約2か月にわたりフルボ酸を利かせリン酸の利用を上げる。	5280	2640
追肥	トモエ特八号	3	3.6	肥料、カルシウム、硫黄、ホウ素などの微量要素と中量要素をフクエンカにより安定供給したいことと 水での溶解で窒素が出にくいことを想定	3980	11940
液肥	ラプラス	12		土質関係なく根の発根を促す。土壌微生物環境の維持。根の抗酸化で長期寿命を狙うなど 一回当たり防除の使用水量を平均100lで計算。 1000倍利用　1回使用量100ml原液使用。 参考価格は大容量版で形状 10l　38300円　100ml単価　383円	383	4596
液肥	リーフエナジー大容量版 オリジナル商品【勝ち関之業炉】	12		環境対策。生育の安定化 一回当たり防除の使用水量を平均100lで計算。 1000倍利用　1回使用量100ml原液使用。10l93500円 100ml単価　935円	935	11220
液肥	ギガフォル	6		アミノ酸とカリ液肥　暑さ乾燥湿潤対策。肥大伸長目的で組み合わせをする。 5L単価31746円　100ml単価634円　収穫前　2回に使用	634	3804
液肥	PKマギー	6		リン酸苦土カリホウ素の液肥　20kg　7975円　200ml利用	797	4782

20kg×19袋380kg　10kg×5袋＝50kg　液体　4.2l=4.2kg換算とする。 1反当り全合計　434.2kg
兵庫県から徳島への運賃参考価格　6179円税込　449kgまでの運賃　130kgの場合　2600円
兵庫県から大分への運賃参考価格　11385円税込　449kgまでの運賃　130kgの場合　4235円
各種値引きに関しては、見積もり時【請求書発行時に設定を行います】星印★に関しては今回無償提供を行います。星印☆に関しては、値引き率を少し多めに設定をさせていただきます。
請求時定価分を値引き別で計上させていただきます。
液肥に関しては、大容量をベースになっていますので必要最低限量の場合は単価が変動します。

税抜き金額合計	117194
税込み金額合計	130216

次年度に関して言うと、IMPの新しいバージョンや、別の土壌改良剤などが品質高く安価に提供できそうですので、施肥設計を変更する場合があります。